

ハンドセラピーリハビリテーション

目的：Useful Handの獲得

ハンドセラピーは患者様にとって使いやすい手、思い通りに動かせる手(Useful Hand)を獲得を促す事です。

その為に日々患者様の生活状況や手の機能を評価し予後予測を行った上で必要な介入を包括的行なっています。

主な対象疾患

骨折, 脱臼, 腱損傷や靭帯損傷, 手指変形性疾患, リウマチ性疾患, 末梢神経損傷に伴う神経麻痺症状を患った方など, 多岐に渡る患者を対象としています。

【疾患例】

- ☑ 橈骨遠位端骨折
- ☑ 舟状骨骨折
- ☑ 上肢靭帯、関節軟部組織損傷
- ☑ 肘頭骨折
- ☑ マレット変形
- ☑ 手根管症候群

装具製作室

医師から依頼を受け, 作業療法士による装具の作製や, 義肢装具士による装具調整の実施の為に利用しています。

手の状態を評価し, 治療時期に合わせた装具の作製や修正ができる専門の設備が整っています。



手外科カンファレンス

毎週水曜日に入院・外来患者様についての話し合いを行い、治療方針の確認や患者様の状態を専門医師と共有し、リハビリを提供しています。

